

第9回 日本カンピロバクター研究会総会

会 長：神 谷 茂（杏林大学医学部感染症学教室）

会 期：平成28年11月26日（土）

受付：午前9時～

（杏林大学井の頭キャンパス F棟3階 F309 講義室 前にて）

会 場：杏林大学井の頭キャンパス F棟3階 F309 講義室

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1

TEL：0422-3813-6211（大代表）

参加費：会 員：2,500円（3,000円）

非会員：3,000円

学 生：1,000円（学生証をご提示ください）

情報交換会費：会員・非会員：3,000円

学生・大学院生・留学生：2,000円（学生証をご提示ください）

役員会：9:00～9:50 F棟4階 F409 講義室

研究会総会：13:00～13:30 F棟3階 F309 講義室

情報交換会：18:00～19:30 F棟1階 カフェテリア 杏

本 部：F棟3階 F302 講義室

事務局：杏林大学医学部感染症学教室内

〒181-8611 三鷹市新川6-20-2

Tel: 0422-47-5511 内線3464

Fax: 0422-44-7325

E-mail: mmicrob@ks.kyorin-u.ac.jp

座長・演者の先生方へ

座長の先生方へのお願い

1. 当日、担当セッションの開始 15 分前までにお越しいただき、受付にて来場された旨をお伝えください。
2. 担当セッションの開始 10 分前までに次座長席にご着席ください。
3. セッションの進行は座長に一任いたしますが、演者の発表時間を厳守し、円滑な運営にご協力ください。

演者の先生方へのお知らせ

◇ 発表方法について

- ・口演は全てコンピューターによるプレゼンテーションです。
- ・会場には液晶プロジェクター 1 台、スクリーン 1 面を準備しています。
- ・発表の際はコンピューターからご自身で画像を進めていただきます。
- ・音声データの発表には対応しておりません。
- ・動画につきましては事務局までご相談ください。

◇ 講演時間について

一般演題の発表時間は 10 分間、質疑応答は 3 分間です。その他の講演に関しましては予めご連絡している講演時間でお願います。

◇ 当日の受付について

当日、発表の 30 分前までに会場入り口付近にある「PC 受付」にお越しください。

◇ 発表スライド送付方法

- ・電子メールにて添付書類で事務局宛送付して下さい。
E-mail アドレス : mmicrob@ks.kyorin-u.ac.jp
- ・内容確認のため PDF 形式で保存したファイルも一緒に送付して下さい。
- ・ファイル名は「口頭発表者名（略記所属名）」にして下さい。
例) 神谷 茂 (杏林大)
- ・添付での送付が困難な場合は CD または DVD で事務局に郵送して下さい。
(その場合はメールにてその旨をご連絡下さい)
- ・念のため当日は USB メモリに保存した発表ファイルを持参して下さい。
- ・送信後、24 時間以内に事務局から返信のメールがない場合にはお手数ですがご連絡くださるようお願い致します。
- ・ファイルサイズが 10 Mb を超える場合には 2 つ以上のファイルに分割してお送りください。
- ・提出していただいたデータは研究会終了後、事務局で責任をもって消去いたします。

送付締め切り 平成 28 年 11 月 18 日 (金) 必着 (厳守)

日程表

10:00~10:05	開会の辞
10:05~10:57	一般演題 I
10:57~11:10	休憩
11:10~12:02	一般演題 II
12:10~13:00	ランチョンセミナー ミヤリサン製薬株式会社 共催 座長：大崎敬子（杏林大学） 「腸内細菌叢とプロバイオティクス」 田口晴彦（杏林大学保健学部免疫学）
13:00~13:30	研究会総会
13:30~14:20	特別講演 座長：神谷 茂（杏林大学） 「カンピロバクター腸炎とギラン・バレー症候群」 千葉厚郎（杏林大学医学部神経内科）
14:20~15:12	一般演題 III
15:12~15:30	休憩
15:30~17:40	シンポジウム 「 <i>Campylobacter jejuni</i> の基礎と臨床」 コンピーナー：三澤 尚明（宮崎大学） イントロダクション 三澤尚明（宮崎大学） 疫学 横山敬子（東京都健康安全研究センター） 病原因子 山崎伸二（大阪府立大学） 臨床 立川夏夫（横浜市立市民病院） フィールドコントロール 三澤尚明（宮崎大学）
17:40~17:45	閉会の辞
18:00~19:30	情報交換会

プログラム

10:00 ~ 10:05 開会の辞

10:05 ~ 10:57 一般演題 I

座長：佐々木貴正（農林水産省動物医薬品検査所）、渡辺孝康（東京大学大学院）

- I-1 16S rRNA メタゲノム解析を用いた鶏盲腸便の養鶏場間比較
○小方奈知子、Yaqi Pan、渡辺孝康、新井沙倉、Hyunjung Kim、関崎 勉
東京大学大学院農学生命科学研究科附属食の安全研究センター
- I-2 肉用鶏系列農場を汚染する *Campylobacter jejuni* の経時的変化
田中健介¹⁾、○岩田剛敏²⁾、楠本正博²⁾、秋庭正人^{2,3)}
¹⁾ 新潟県中央家畜保健衛生所、²⁾ 農研機構・動物衛生研究部門、³⁾ 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科
- I-3 生食用と加熱用鶏肉におけるカンピロバクター汚染菌数の評価
○阿井隆之介、堀内雄太、富野由通、中馬猛久
鹿児島大学共同獣医学部獣医学科獣医公衆衛生学教室
- I-4 カンピロバクター属菌の汚染源追跡手法
: Culture-based and Culture-independent Approaches
○小林真弓¹⁾、前田充登¹⁾、Qian Zhang³⁾、宮村明帆¹⁾、岡部 聡²⁾、石井 聡^{2,3)}
¹⁾ 北海道大学大学院工学院、²⁾ 北海道大学大学院工学研究院、³⁾ Department of Soil, Water, and Climate; and BioTechnology Institute, University of Minnesota

10:57 ~ 11:10 休憩

11:10 ~ 12:02 一般演題 II

座長：秋庭正人（農研機構）、磯部順子（富山県衛生研究所）

- II-1 カラスが家畜由来薬剤耐性カンピロバクターの保菌動物となる可能性
○佐々木貴正、永井英貴
農林水産省動物医薬品検査所
- II-2 竹サイレージ給与鶏における *Campylobacter jejuni* の腸管定着阻害試験
○宮本佳奈¹⁾、谷口喬子²⁾、三澤尚明^{1,2)}
¹⁾ 宮崎大学獣医公衆衛生、²⁾ 宮崎大学・産業動物防疫リサーチセンター
- II-3 *Campylobacter fetus* 亜種同定法の検討並びに野外分離例からの感染ルートの考察
○高橋弘康、信本聖子、岡本絵梨佳、立花 智
北海道十勝家畜保健衛生所

- II-4 *Campylobacter jejuni* 感染で誘導される小胞体ストレスについて
○天宅あや¹⁾、下畑隆明¹⁾、畑山 翔¹⁾、木戸純子¹⁾、上番増 喬¹⁾、馬渡一諭¹⁾、
原田永勝²⁾、高橋 章¹⁾
¹⁾ 徳島大学大学院医歯薬学研究部予防環境栄養学分野、²⁾ 徳島大学大学院医歯薬学
研究部代謝栄養学分野

12:10 ~ 13:00 ランチョンセミナー

座長：大崎敬子（杏林大学）
「腸内細菌叢とプロバイオティクス」
田口晴彦（杏林大学保健学部免疫学）

13:00 ~ 13:30 研究会総会

13:30 ~ 14:20 特別講演

座長：神谷 茂（杏林大学）
「カンピロバクター腸炎とギラン・バレー症候群」
千葉厚郎（杏林大学医学部神経内科）

14:20 ~ 15:12 一般演題 III

座長：浅田安廣（京都大学大学院）、岩田剛敏（農研機構）

- III-1 宿主アミノ酸輸送の変化と宿主細胞内*Campylobacter jejuni* 生存について
○木戸純子、下畑隆明、佐藤優里、畑山 翔、神田結奈、天宅あや、福島志帆、
上番増 喬、馬渡一諭、高橋 章
徳島大学大学院医歯薬学研究部予防環境栄養学分野
- III-2 *Campylobacter jejuni* の宿主腸管上皮細胞への侵入とTight Junctions形成の関連に
ついて
○畑山 翔、下畑隆明、天野幸恵、木戸純子、神田結奈、天宅あや、福島志帆、
中橋睦美、上番増 喬、馬渡一諭、高橋 章
徳島大学大学院医歯薬学研究部予防環境栄養学分野
- III-3 *Campylobacter helveticus* produce a unique Cytolethal Distending Toxin (CDT) in
pet-dominant *Campylobacter*
○Srinuan Somroop, Noritoshi Hatanaka, Kazumasa Kamei, Masahiro Asakura,
Emi Yoshida, Sharda Prasad Awasthi, Atsushi Hinenoya, Shinji Yamasaki
Graduate school of life and environmental sciences, Osaka Prefecture University
- III-4 ガングリオシド様リポオリゴ糖を保有する*Campylobacter jejuni* の検出手法に関する
検討
○安川太希、浅田安廣、尾崎大蔵、高野裕久、伊藤禎彦
京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻

15:12 ~ 15:30 休憩

15:30 ~ 17:40 シンポジウム 「*Campylobacter jejuni* の基礎と臨床 」

コンビーナー：三澤尚明（宮崎大学）

- S-1 *Campylobacter jejuni* の基礎と臨床
三澤尚明
宮崎大学・産業動物防疫リサーチセンター
- S-2 カンピロバクター感染症の疫学 – 都内散発患者由来株を中心に –
○横山敬子、赤瀬 悟、平井昭彦
東京都健康安全研究センター 微生物部
- S-3 カンピロバクター属菌の病原因子
山崎伸二
大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医国際防疫学
- S-4 臨床
立川夏夫
横浜市立市民病院
- S-5 農場および処理場におけるカンピロバクター制御の取り組み
三澤尚明
宮崎大学・産業動物防疫リサーチセンター

17:40 ~ 17:45 閉会の辞

18:00 ~ 19:30 懇親会